

# 舌・筋肉モデル

下顎義歯床の離脱・圧着に大きく関与する舌機能時に生ずる筋の膨らみを再現したモデルです



定価：¥7,500  
(税別)

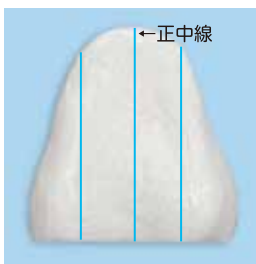
舌は外舌筋と内舌筋の非常に強い筋で構成され、下顎義歯にとっては、口腔底を構成する顎舌骨筋とともに離脱に大きく関与します。しかし、その筋束をうまく利用できれば下顎義歯床を圧着する要素になると考え、中尾勝彦先生が「舌・筋肉モデル」を考案しました。

下顎義歯装着者は下顎義歯を維持するために常に舌に力を入れた状態を保ちます。その時、舌後方 1/3 舌根部の左右に大きな筋の膨らみが発生することがわかりました。

この舌機能時に生ずる筋の膨らみが、下顎義歯の離脱、圧着に大きく関与するので、この膨らみを「舌根球」と名付け、この舌の形態を「舌・筋肉モデル」として、商品化しました。安定した義歯作製にご活用下さい。

## \* 形状

舌背観



舌尖より舌根部付近がふくらんでいる。左右の対称性を観察するため正中線などが入っている

舌底観



舌底より見ると左右舌根部が大きくふくらみ、筋塊となっている。これを「舌根球」と名付けた

側面観



舌底は船底状に反っていることがわかる

補綴臨床 MOOK2002  
無痛デンチャーの臨床 (中尾勝彦 著) より

## \* 使い方 下顎義歯の排列、試適調整時に「舌・筋肉モデル」を使用します。



技工士は排列時に「舌・筋肉モデル」を添えるだけで、舌のイメージを持つことができ、また排列の対称性やバランスを確認できます。歯科医師は舌の動きや舌根球が義歯の吸着に及ぼす影響を、患者様に説明するのに役立ちます。

<提供> 平賀歯科医院 (大阪府東大阪市) 平賀敏人先生  
(有) 田工房 (大阪府松原市) 貝原紘一先生